

生きていける賃金を出せ！ 希望者を全員、正社員にしろ！

CTS 職場ニュース

動労千葉（国鉄千葉動力車労働組合）
2022年3月3日

会社に要求します！

生活できる賃金を出せ

物価上昇、さらに悪化！

新聞各紙では、3月からの食料品・日用品の値上げが報じられています。ウクライナ情勢の影響も大きく、ガソリン・燃料費の値上がり、小麦をはじめとする原材料費や輸送費の高騰で、あらゆるものの値上げがさらに加速することが予想されています。

コロナ渦とJR東日本の赤字を口実にして、CTSは2年にわたってベースアップなし、ボーナスも実質減額、契約・パート社員の時給はわずか10円（今年1月）しか上げていません。

すでに、昨年1年間で労働者の実質賃金は大きく落ち込んでいます（右下グラフ）。このまま物価上昇が続けば、本当に生活していけない状況が来ることはまちがいありません。22春闘で、何としてもこの状況を変えなければなりません。

動労千葉の組合要求

動労千葉は2月、JR東日本、CTSに対して4月以降の新賃金要求の申し入れを行いました。

<JR東日本>に対しては、物価上昇分含め58,000円の賃金引き上げを求め、定期昇給については、昨年会社が係数「2」を削減したことから昇給係数4+2の「6」とすることを求めました。

<CTS>に対しては基本賃金40,000円の引き上げ、契約・パート社員は時給を一律1500円に引き上げるよう求めました。

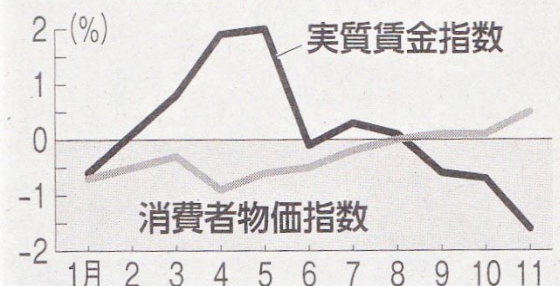
（裏に続く）

	企業名	値上げ幅
食料品	伊藤ハム ソーセージ・ハム	4~12% (3月1日~)
	日本水産 缶詰	約3~20% (3月1日~)
	大塚食品 レトルトカレー	10円 (4月1日~)
飲料	雪印 メグミルク チーズ	4.3~10% (4月1日~)
	コカ・コーラ ボトラーズ ジャパン 大容量ペットボトル	5~8% (5月1日~)
日用品	大塚食品 ミネラルウォーター (500ml)	10円 (4月1日~)
	大王製紙 ティッシュ、トイレットペーパー	15%以上 (3月22日~)
	日本製紙 クレシア	10%以上 (4月1日~)

3月以降の食料品・日用品の値上げ ※かつこ内は値上げ開始時期

消費者物価指数(生鮮食品を除く)と実質賃金指数の前年同月比の推移

2021年。総務省と厚生労働省の統計から



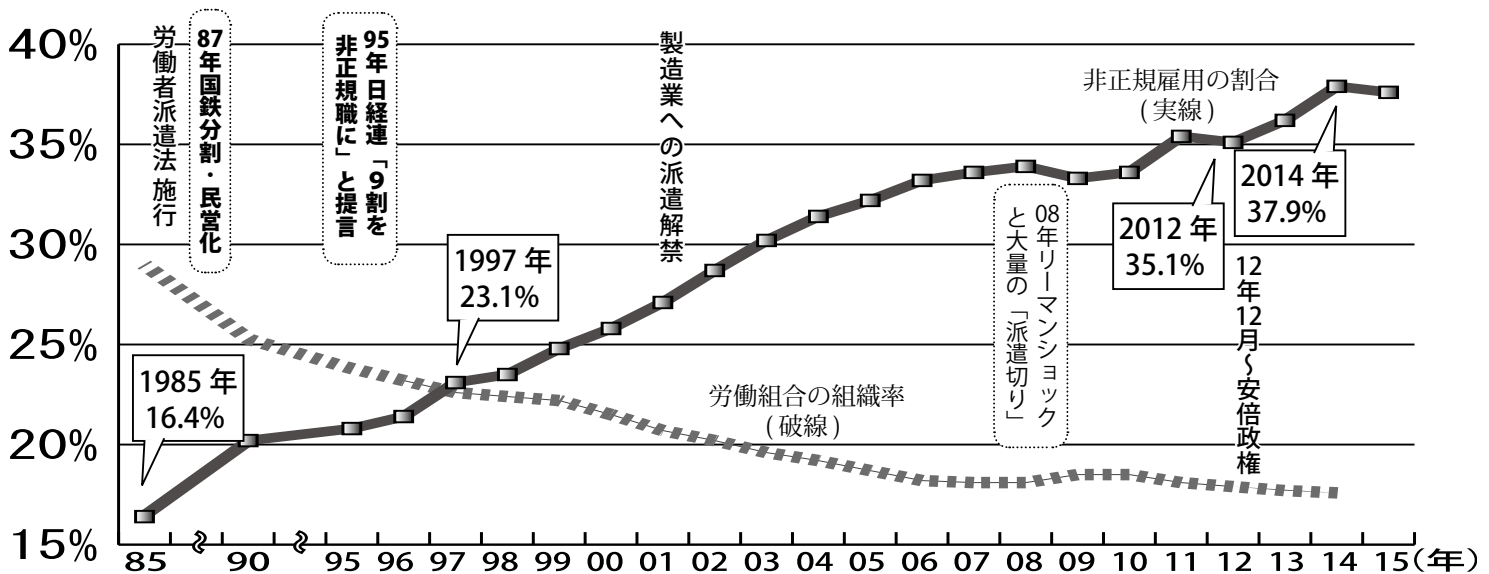
すでに昨年、物価上昇で実質的な賃金は下落している

JRをはじめ日本の巨大企業は労働者の雇用を破壊して利潤をあげてきた

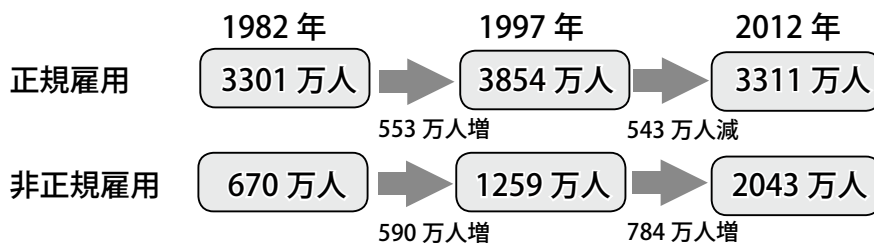
労働組合、雇用と生活を破壊しつくした新自由主義の30年

非正規職は30年で16.4%→37.9%に！

国をあげた労働組合つぶし、それと一体の労働者派遣法制定などで労働組合の組織率は低下。それと反比例するように非正規雇用の割合は激増。大企業は労働者に犠牲をしわ寄せして延命してきました



**30年で
非正規職
1373万人
増加**



1982年からの30年間で、正規雇用はほとんど増えていないが、非正規雇用は1373万人も増加！

労働組合の復権が必要だ！

私たちの生活がギリギリの状況で、将来展望も見えてこないのは「自然現象」でも「しょうがない現実」でもありません。

上記の資料にあるように、この30年間、政府と財界が一体となり、労働組合の力をそぎ落とし、雇用を破壊して利潤をあげてきた結果です。

企業の利潤追求ばかりが最優先され、労働者が普通に生きていくこともできない社会は絶対に間違ってます。

私たちの手で職場に労働組合をよみがえらせ、奪われた雇用と賃金を奪い返す以外に、労働者は人間らしく生きていくことはできません。動労千葉に加入し、ともに春闘を闘おう！